

取組項目	No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標							令和4年度の取組内容
						指標(単位)	ごみ処理施設見学会実施校数 (校)						
1 発生抑制・資源化計画	1	教育・啓発活動の充実	【目的】 ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの発生抑制、再使用、再生利用等5Rを推進する。	○学校における環境学習 (小学校4年生を対象としたクリーンセンター見学会の開催や希望に応じた出前講座の実施) ○資源ごみ回収を行う団体への支援 ○食品ロス削減の取組の周知 ○飲食店等の「食べきりかぞ」協力店を募集・登録し、その取組を周知 新 食べきりかぞ協力店ステッカー及びポスター作成 新 ベトナム語版「ごみの分け方・出し方」作成	6・コロナによる影響	指標(単位)	ごみ処理施設見学会実施校数 (校)						○学校における環境学習 (小学校4年生を対象としたクリーンセンター見学会の開催や希望に応じた出前講座の実施) ○資源ごみ回収を行う団体への支援 ○食品ロス削減の取組の周知 ○飲食店等の「食べきりかぞ」協力店を募集・登録し、その取組を周知 新 本市と包括連携協定を締結しているセブンイレブンジャパン協力のもと、加須市オリジナルPOPによる「てまえどり」啓発活動の実施
		年度	平成29年度			30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度			
	2	資源リサイクル課	【概要】 児童・生徒をはじめ市民に対して、意識を高めるため教育・啓発を行う。	○事業系一般廃棄物を収集運搬する許可業者に対し、搬入時検査を実施 ○チラシの配布やホームページ掲載による、事業者に対する啓発の実施 ○市自ら、事業者としての資源化・減量化の促進	6・コロナによる影響	指標(単位)	事業系ごみ搬入検査実施数 (回)						○事業系一般廃棄物を収集運搬する許可業者に対し、搬入時検査を実施 ○チラシの配布やホームページ掲載による、事業者に対する啓発の実施 ○市自ら、事業者としての資源化・減量化の促進
	年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度				
	3	資源リサイクル課	【目的】 多量排出事業者に対する減量化指導の徹底	【概要】 事業系ごみの分別排出への協力を呼びかける啓発を行う。	2・概ね達成	指標(単位)	プラスチック類ゴム製品ごみ排出量 (t)						○プラスチック資源循環促進法の目的に即した使い捨てプラスチックの排出抑制への周知啓発 ○「マイバッグ運動」、「マイボトル運動」の実施 ○市ホームページやリサイクル推進員研修会において、不要なレジ袋の辞退とマイバッグの使用を啓発 ○市役所内におけるプラスチック削減運動(マイボトル・マイバッグ運動)の実施 新 マイボトル利用促進キャッチフレーズ等募集
年度	平成29年度	30年度	令和元年度			2年度	3年度(目標年)	4年度					
4	環境政策課	【目的】 飲食物容器、包装廃棄物等の排出抑制	【概要】 民間事業者の資源物の店頭回収の普及により、資源化を促進する。	2・概ね達成	指標(単位)	環境物品調達率 (%)						○市が率先して環境配慮型事務用品をはじめとした環境物品等(環境負荷の低減に資する原材料、部品、製品及び役務)の調達を総合的かつ計画的に推進	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					
5	資源リサイクル課	【目的】 グリーン購入の推進	【概要】 環境負荷の少ない製品・サービスなどの普及や製品開発を促進するため、グリーン購入の拡大に努める。	1・目標を達成	指標(単位)	草木類のチップ化量 (t)						○生ごみ処理容器の利用促進 ○緑のリサイクル事業の促進(公共事業から排出される草木類の資源化、クリーンセンターに搬入された草木類・家具類の資源化) ○生ごみのたい肥化の啓発	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					
		【目的】 バイオマスの資源化と有効活用	【概要】 生ごみ及び木くず類の資源化・減量化を促進する。		指標(単位)	環境物品調達率 (%)						○市が率先して環境配慮型事務用品をはじめとした環境物品等(環境負荷の低減に資する原材料、部品、製品及び役務)の調達を総合的かつ計画的に推進	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					
		【目的】 バイオマスの資源化を普及し、燃やすごみの減量化を図る。	【概要】 生ごみ及び木くず類の資源化・減量化を促進する。		指標(単位)	草木類のチップ化量 (t)						○生ごみ処理容器の利用促進 ○緑のリサイクル事業の促進(公共事業から排出される草木類の資源化、クリーンセンターに搬入された草木類・家具類の資源化) ○生ごみのたい肥化の啓発	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					
		【目的】 多量排出事業者に対する減量化指導の徹底	【概要】 事業系ごみの分別排出への協力を呼びかける啓発を行う。	2・概ね達成	指標(単位)	事業系ごみ搬入検査実施数 (回)						○事業系一般廃棄物を収集運搬する許可業者に対し、搬入時検査を実施 ○チラシの配布やホームページ掲載による、事業者に対する啓発の実施 ○市自ら、事業者としての資源化・減量化の促進	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					
		【目的】 飲食物容器、包装廃棄物等の排出抑制	【概要】 民間事業者の資源物の店頭回収の普及により、資源化を促進する。	2・概ね達成	指標(単位)	プラスチック類ゴム製品ごみ排出量 (t)						○プラスチック資源循環促進法の目的に即した使い捨てプラスチックの排出抑制への周知啓発 ○「マイバッグ運動」、「マイボトル運動」の実施 ○市ホームページやリサイクル推進員研修会において、不要なレジ袋の辞退とマイバッグの使用を啓発 ○市役所内におけるプラスチック削減運動(マイボトル・マイバッグ運動)の実施 新 マイボトル利用促進キャッチフレーズ等募集	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					
		【目的】 グリーン購入の推進	【概要】 環境負荷の少ない製品・サービスなどの普及や製品開発を促進するため、グリーン購入の拡大に努める。	2・概ね達成	指標(単位)	環境物品調達率 (%)						○市が率先して環境配慮型事務用品をはじめとした環境物品等(環境負荷の低減に資する原材料、部品、製品及び役務)の調達を総合的かつ計画的に推進	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					
		【目的】 バイオマスの資源化と有効活用	【概要】 生ごみ及び木くず類の資源化・減量化を促進する。	1・目標を達成	指標(単位)	草木類のチップ化量 (t)						○生ごみ処理容器の利用促進 ○緑のリサイクル事業の促進(公共事業から排出される草木類の資源化、クリーンセンターに搬入された草木類・家具類の資源化) ○生ごみのたい肥化の啓発	
年度	平成29年度	30年度			令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度					

1 発生抑制・資源化計画	6	小型廃家電リサイクル事業 資源リサイクル課	【目的】 小型家電のリサイクルにより、資源化を図る。 【概要】 「燃やさないごみ」「粗大ごみ」として排出された小型家電を選別し、リサイクル業者と提携し、再資源化を図る。	○粗大ごみ処理施設における適切な分別(直接搬入者による分別及び作業員によるピックアップ回収)の実施 ○リサイクルフェアにおけるパソコン等のイベント回収の実施 ○本庁舎・各総合支所へ小型家電回収ボックスを設置	1・目標を達成	指標(単位) 小型家電資源化量 (t) 年度 平成29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 4年度 目標 190 190 190 190 190 190 実績 188 212 220 296 246 【評価の理由】 実績値/目標値=129% 小型家電の処理量は昨年度から56t減少したが、目標値を56t上回っているため。	○粗大ごみ処理施設における適切な分別(直接搬入者による分別及び作業員によるピックアップ回収)の実施 ○リサイクルフェアにおけるパソコン等のイベント回収の実施 ○本庁舎・各総合支所へ小型家電回収ボックスを設置 新 木くず類の収集方法の拡充	
	7	リユースの推進 資源リサイクル課	【目的】 リユースによるごみの減量化を図る。 【概要】 リサイクルフェアを活用し、家庭で不要となった家具等の有効利用を推進する。	○リサイクルフェアの開催 ○公共施設利用備品における、クリーンセンター搬入ごみの積極的な活用	6・コロナによる影響	指標(単位) リサイクルフェアでのリユース(引渡)量 (kg) 年度 平成29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 4年度 目標 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 実績 8,218 6,774 4,057 0 0 【評価の理由】 実績値/目標値=0% 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、予定していたリサイクルフェアを中止したため。	○リサイクルフェアの開催 ○公共施設利用備品における、クリーンセンター搬入ごみの積極的な活用	
	8	資源の分別収集の活用 資源リサイクル課	【目的】 資源の分別収集を活用し、資源化を推進する。 【概要】 市が実施している資源ごみの分別収集において、市民との協働による分別を促進する。	○資源ごみ回収団体への支援 ○広報、ホームページにより、資源ごみの行方の情報を提供 ○リサイクル推進協力会へ、集積所用分別看板や案内表示等の支援 新 スーパー等が独自に行う食品トレーやびん、缶、ペットボトルなどの店頭回収と連携した取組みの検討	6・コロナによる影響	指標(単位) 資源ごみ集団回収量 (t) 年度 平成29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 4年度 目標 1,673 1,714 1,760 1,796 1,830 596 実績 1,068 1,007 948 517 584 【評価の理由】 実績値/目標値=31.9% 新型コロナウイルス感染症の影響で、集団回収を実施する団体が減少し、目標には達しなかったため。	○資源ごみ回収団体への支援 ○広報、ホームページにより、資源ごみの行方の情報を提供 ○リサイクル推進協力会へ、集積所用分別看板や案内表示等の支援 ○資源の有効活用やごみの適正処理に向けた、スーパーやホームセンター、家電量販店等との連携	
	9	生ごみのたい肥化によるごみの減量(リデュース) 資源リサイクル課	【目的】 燃やすごみの減量化を図る。 【概要】 生ごみ処理容器等を活用し、生ごみのたい肥化を推進する。	○生ごみ処理容器の利用促進 ○生ごみ処理容器購入費補助金の周知 ○生ごみ処理機使用後の処理物のたい肥としての活用の周知	2・概ね達成	指標(単位) 生ごみ処理容器購入補助基数 (基) 年度 平成29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 4年度 目標 150 150 150 150 150 150 実績 74 97 83 116 130 【評価の理由】 実績値/目標値=86.7% 平成24年度から補助金額の統一・拡充を行ったことで、多くの世帯が購入した(H24:520基、H25:451基、H26:200基)。その後、平成30年度にテレビ報道による増加があり、令和2年度からチラシの配布等により自家処理を促進し購入数は増加しているものの、130基で目標には達しなかったため。	○生ごみ処理容器の利用促進 ○生ごみ処理容器購入費補助金の周知 ○生ごみ処理機使用後の処理物のたい肥としての活用の周知	
	2	10	ごみ分別の徹底 資源リサイクル課	【目的】 分別品目に従った分別を徹底する。 【概要】 市民に対して、分別区分に従って分別を徹底するよう周知を図る。また、分別排出されたごみは、資源化及び適正処理・処分が図れるよう迅速かつ衛生的に収集・運搬する。	○情報の提供(ごみに関する情報を適時SNSやホームページ、市報かぞにて提供) ○ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方、集積所の掲示等の適正排出のための支援 ○組成調査によるごみ分別状況の把握 ○リサイクル推進協力会との協働による分別収集の徹底 ○委託業者による適正なごみ収集業務の指導	2・概ね達成	指標(単位) リサイクル率 (%) 年度 平成29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 4年度 目標 40 40 40 40 40 40.7 実績 38.8 38.4 37.1 38.4 37.4 【評価の理由】 令和3年度は速報値 実績値/目標値=94% ごみの資源化率は、引き続き高い水準を維持しているため。	○情報の提供(ごみに関する情報を適時SNSやホームページ、市報かぞにて提供) ○ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方、集積所の掲示等の適正排出のための支援 ○組成調査によるごみ分別状況の把握 ○リサイクル推進協力会との協働による分別収集の徹底 ○委託業者による適正なごみ収集業務の指導 新 緊急事態発生時のごみ収集に係る業務継続計画の策定 新 加須クリーンセンター内における資源物選別の強化

2 収集・運搬計画	11	ごみ集積所の維持管理の徹底	【目的】 ごみの分別活動を促進し、資源化を図る。	○リサイクル推進協力会への活動交付金の支援 ○ごみ収納かご、ごみ集積所整備への支援 ○集積所維持管理にかかる技術的支援 ○リサイクル推進協力会同士の情報交換の支援	1・目標を達成	指標(単位)	リサイクル推進員経験者数 (人)						○リサイクル推進協力会への活動交付金の支援 ○ごみ収納かご、カラスネットの購入やごみ集積所整備への支援 ○集積所維持管理にかかる技術的支援 ○リサイクル推進協力会同士の情報交換の支援									
	資源リサイクル課	【概要】 リサイクル推進協力会を中心とする集積所の維持管理を徹底し、ごみの分別活動を促進する。	年度	平成29年度		30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度	目標	1,800		2,100	2,400	2,700	3,000	3,300	実績	1,989	2,310	2,652
12	事業系ごみの排出者責任の徹底	【目的】 事業者による適正処理により、ごみの資源化・減量化を図る。	○市ホームページやチラシ等による排出者責任や適正処理の周知 ○県との協働による事業系ごみ削減キャンペーンを実施	1・目標を達成	指標(単位)	事業系ごみの排出量 (t)						○市ホームページやチラシ等による排出者責任や適正処理の周知 ○県との協働による事業系ごみ削減キャンペーンを実施										
	資源リサイクル課	【概要】 事業系ごみは、自らが処理処分を適正に処理を行うよう指導する。	年度		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度	目標		10,194	10,104	10,088	9,935	9,835	8,985	実績	10,103	10,283	9,208
3 中間処理計画	13	適正処理の推進	【目的】 分別収集したごみについて、資源の循環が図りやすい処理体制を推進する。	○分別収集したごみの適正な中間処理 ○周辺環境への配慮 ○有価物の適正なルートでの売り払い ○効果的な資源化方法の調査・研究 新 プラスチック類・ゴム製品の安定処理に向けた処理先の確保	1・目標を達成	指標(単位)	資源化総量 (t)						○分別収集したごみの適正な中間処理 ○周辺環境への配慮 ○有価物の適正なルートでの売り払い ○効果的な資源化方法の調査・研究 新 市外からの廃棄物搬入に伴う中間処理施設周辺環境保全施策の検討									
	資源リサイクル課	【概要】 分別収集したごみを中間処理し、資源化を優先的に行い、資源化が困難なごみについては焼却処理し熱回収を行う。	年度	平成29年度		30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度	目標	13,968		14,115	14,293	14,409	14,520	15,675	実績	15,857	15,791	14,825
14	資源化の拡充	【目的】 資源化の拡充を図り、資源化を推進する。	○粗大ごみ処理施設における適切な分別の実施 ○焼却灰の資源化 ○資源化品目拡充に関する調査・研究 ○ガラス類・陶磁器類の資源化	2・概ね達成	指標(単位)	中間処理後の資源化量 (t)						○粗大ごみ処理施設における適切な分別の実施 ○焼却灰の資源化 ○資源化品目拡充に関する調査・研究 ○ガラス類・陶磁器類の資源化										
	資源リサイクル課	【概要】 資源化できる品目を拡充できるよう、研究を実施する。	年度		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度	目標		11,971	12,105	12,054	12,001	11,957	12,285	実績	11,974	12,114	11,286
4 最終処分計画	15	最終処分埋立量の削減	【目的】 埋立量の削減を図り、最終処分場の延命化を図る。	○情報の提供 (ごみに関する情報を適時SNSやホームページ、市報かぞにて提供) ○ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方、集積所の掲示等の適正排出のための支援 ○食品ロスの削減 ○生ごみの自家処理の推進 ○焼却灰の資源化 ○ガラス類・陶磁器類の資源化	2・概ね達成	指標(単位)	最終処分量 (t)						○情報の提供 (ごみに関する情報を適時SNSやホームページ、市報かぞにて提供) ○ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方、集積所の掲示等の適正排出のための支援 ○食品ロスの削減 ○生ごみの自家処理の推進 ○焼却灰の資源化 ○ガラス類・陶磁器類の資源化									
	資源リサイクル課	【概要】 ごみの資源化・減量化、焼却灰の有効利用により、埋め立てる最終処分量を減らす。	年度	平成29年度		30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	4年度	目標	1,175		1,161	1,151	1,133	1,118	1,186	実績	1,201	1,252	1,205

5 施設 整備 計画	16	施設整備の検討	【目的】 健全な施設運営のため、施設整備の検討を行う。	○ごみ処理施設全体(加須クリーンセンター、大利根クリーンセンター)の適正な維持管理 ○施設の再編等の検討	1・ 目標を 達成	指標(単位)	施設の不具合等による市外への他施設への搬出量 (t)						○ごみ処理施設全体(加須クリーンセンター、大利根クリーンセンター)の適正な維持管理 ○施設の再編等の検討
		資源リサイクル課	【概要】 設備・機器等の部分的な整備補修で健全度を回復し延命化を図るとともに、将来的なごみ処理体制について検討を行う。			年度	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度 (目標年)	4年度	
6 ごみ 処理 関連 事項	17	災害廃棄物の処理・処分、処理体制の維持	【目的】 災害廃棄物の適正処理・リサイクルを行う。	○災害廃棄物処理計画に基づく準備と訓練の実施 ○災害廃棄物処理計画の確認	1・ 目標を 達成	指標(単位)	災害廃棄物処理計画の策定及び確認						○災害廃棄物処理計画に基づく準備と訓練の実施 ○災害廃棄物処理計画の確認
		資源リサイクル課	【概要】 災害時における災害廃棄物の適正処理・リサイクルに努める。			年度	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度 (目標年)	4年度	
6 ごみ 処理 関連 事項	18	廃棄物減量化等推進審議会、加須市リサイクル推進協会の設置	【目的】 廃棄物減量等推進審議会及び加須市リサイクル推進協会を設置し、リサイクル推進員を任命する。	○実施計画の策定及び進行管理 ○審議会を開催し、事業成果の報告、委員の意見聴取 ○リサイクル推進協会の活動支援(研修会の開催、ごみ収納かご、カラスネット配布等) ○ごみ集積所の管理支援(整備費の補助、不法投棄対策支援等)	6・ コロナ による 影響	指標(単位)	リサイクル推進員研修会開催数 (回)						○実施計画の策定及び進行管理 ○審議会を開催し、事業成果の報告、委員の意見聴取 ○リサイクル推進協会の活動支援(研修会の開催、ごみ収納かご、カラスネット配布等) ○ごみ集積所の管理支援(整備費の補助、不法投棄対策支援等) 新第2次一般廃棄物処理基本計画(令和4~13年度)の策定
		資源リサイクル課	【概要】 条例に基づき、廃棄物減量等推進審議会を設置するとともに、地域レベルでの加須市リサイクル推進協会を設置し、リサイクル推進員を任命する。			年度	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度 (目標年)	4年度	
6 ごみ 処理 関連 事項	19	環境美化の推進	【目的】 市民や事業者との協働による清潔な地域環境の実現を図る。	○市内各地域の一斉清掃の実施 ○市内全地域同一期間一斉清掃の実施(3月) ○渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施	6・ コロナ による 影響	指標(単位)	一斉清掃参加者数 (人)						○市内各地域の一斉清掃の実施 ○市内全地域同一期間一斉清掃の実施(3月) ○渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施
		資源リサイクル課	【概要】 市内全域で市民総ぐるみの環境美化活動を展開する。			年度	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度 (目標年)	4年度	
6 ごみ 処理 関連 事項	20	処理困難廃棄物の適正な処理・処分の指導強化	【目的】 市で収集しないごみの適正な処理を推進する。	○処理困難物、家電リサイクル法対象製品、パソコン等の処分方法の周知・情報提供 ○リサイクルフェアにおける不要パソコン等のイベント回収の実施	6・ コロナ による 影響	指標(単位)	リサイクルフェアでのパソコン回収台数 (台)						○処理困難物、家電リサイクル法対象製品、パソコン等の処分方法の周知・情報提供 ○リサイクルフェアにおける不要パソコン等のイベント回収の実施
		資源リサイクル課	【概要】 市で収集しないごみとしている廃棄物は、排出者自らが専門の処理業者等に依頼して処理するよう指導する。			年度	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度 (目標年)	4年度	
6 ごみ 処理 関連 事項	21	不法投棄対策の強化	【目的】 不法投棄の再発を防止する。	○不法投棄監視パトロールの実施 ○埼玉県併任職員制度の活用 ○不法投棄防止看板による啓発 ○リサイクル推進協会、地域住民との協働 ○警察や埼玉県と連携した不法投棄への対応	1・ 目標を 達成	指標(単位)	不法投棄投棄防止パトロール回数 (回)						○不法投棄監視パトロールの実施 ○埼玉県併任職員制度の活用 ○不法投棄防止看板による啓発 ○リサイクル推進協会、地域住民との協働 ○警察や埼玉県と連携した不法投棄への対応
		資源リサイクル課	【概要】 不法投棄防止のための啓発、市民との協働による再発の防止に努める。			年度	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度 (目標年)	4年度	